

【特集目次】

◆ 特集の背景と概要

Understanding, protecting, and exploiting productive oceans

和田時夫（独立行政法人水産総合研究センター理事）

◆ 豊饒の海を持続的に利用するためのイノベーション

Innovation for sustainable use of the sea of fertility

松田裕之（横浜国立大学）

◆ 小型CTD等を装着した鰭脚類による海洋観測データの取得

Oceanographic data collection using instrumented pinnipeds

三谷曜子（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）・大島慶一郎（北海道大学低温科学研究所）・桜井泰憲（北海道大学水産科学研究院）

◆ 海洋生態系自動観測の実現に向けた技術開発

Development of technologies for continuous monitoring of marine ecosystem

秋葉龍郎（産業技術総合研究所・東京海洋大学産学・地域連携推進機構）・田中祐志・福原 豊・波津久達也・賞雅寛而・石丸 隆（東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科）

◆ 海洋生物の遠隔的判別技術の開発

Development of remote identification technologies for marine organisms

赤松友成（水産総合研究センター/科学技術振興機構CREST）・川口勝義（海洋研究開発機構）・松尾行雄（東北学院大学）

◆ ライブモニタリングによる環境プロファイリング

Natural Environment-Profiling through Real-time Live Monitoring and Archiving Experiences

斎藤 馨（東京大学大学院新領域創成科学研究科）・小林博樹（東京大学空間情報科学研究センター）・藤原章雄（東京大学大学院農学生命科学研究科）・中村和彦（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

◆ 細菌の遺伝子による漁場環境の評価

An attempt to assess the environment by using microbial genomic information in coastal fishing grounds

坂見知子（独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所）

◆ 動物プランクトンの分子生物学的研究成果の環境修復への展開

Perspectives on environmental remediation using molecular biomarkers of zooplankton

菅 向志郎・阪倉良孝・萩原篤志（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）